



NO. 885
 発行
 2016年
 6月25日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

**労働は商品ではない
 働くことが尊重されていない**

**毎日新聞記者
 東海林 智氏**

**労働者保護ルール改悪に抗うために
 人間らしく働くために・労働組合への団結を**

国労本部組織強化・拡大経験交流集会在6月5日〜6日、箱根湯本で開催され、第一日目に毎日新聞記者の東海林智さんから特別講演がありました。

講演は、労働法の改悪に伴う労働者の実態や派遣労働者の劣悪な労働環境について説明がありました。



**労働問題を
 10年間取材**

厚生労働省・労働問題を10年間取材した。2年間、新聞労連の委員長をした。現在も労働問題について取材している。
 フィラデルフィア宣言「労働政策について、どのように使われて

いるのか。変えられるのか。だから、まともな労働運動、労働組合が必要だ。
 労働者として、人らしく働くのか、どのような状況で働いているのか、現在、分岐点になっている。だから必要だ。



**第85回全国大会
 第30回東日本大会
 の選挙結果**

- 第85回全国大会代議員（定数1）
 当選 福富 雅彦 57歳
 新潟鉄道サービス出向
 地本 書記長
- 第30回東日本大会代議員（定数1）
 当選 佐藤 透 54歳
 酒田保線技術センター
 地本 副委員長

国労問題を学んだ



大学4年のとき、労働法のゼミで不当労働行為について学ぶ。国労問題を学んだ・調査、研究。
 国鉄分割・民営化の闘いの時、1987年3月31日は国労会館にいた。午前0時まで集会が開催された。その経験から、働くことをテーマにして記者になった。国労とかかわりが強い、感謝している。

労働は商品ではない

フィラデルフィア宣言「労働は商品ではない。働くことが尊重されている。表現、組合づくり、声を上げることは社会進歩になる。一部の貧困を見て見ぬふりをするな。見て見ぬふりそれが自分自身にふりかかってくる。
 安倍政権によって、逆方向に労働が商品化されている。貧困をそのまま放置している。消費税増税の延期・当たり前のことが当たり前になっていない現状だ。

貧困問題「労働組合も見て見ぬふりをしてきた。中流意識が強くなった。日本には無いと考えてきた。2000年から変わってきた。日本も貧困問題があった。放置によって非正規が増えて労働者プアが発生している。

**非正規雇用が
 増えただけ**

生活保護の受給状況「安倍政権は雇用が増えたと言っているが非正規が増えている（女性・高齢者・若者）など劣悪な雇用状況になっている。

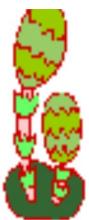
求人倍率だけが上がったから失敗していないと言っている。高齢者は生活保護が増えている。65歳以下年金が少ないので非正規雇用や生活保護を受けている。



**賃金は価格と
 言っている**

労働は商品化されている。余剰人員「在庫を抱える。労働者への賃金は価格と言っている。企業は余剰在庫を抱えているからデフレになっている。

働くものは商品としている。派遣労働者「人が働いていることをわかっていない。忘れてしまっただけだから余剰人員となった。



厳しい実態・女性派遣社員

●派遣労働者は休めない●

貿易関係の会社で10年以上働いている。専門職（通訳）だったので同一会社に勤務していた。3年以降、正社員として採用を要求したが会社は認めない。

彼女はシングルマザーで派遣されていた。病気・子供の入学式卒業式、子供の病気などで会社を休めなかった。休めば解雇につながる。派遣労働者だから休めない。派遣労働者は、手当、交通費、ボーナス、退職金が支給されない。会社に貢献してきたが会社は認めない。

派遣社員は3年後に解雇される。派遣法の改悪から、過酷な労働環境、労働条件になっている。

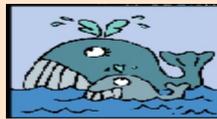
●ネットカフェ難民は日雇いしかない●

派遣女性社員が、職場の階段で滑って転倒しケガをした。10日間の病欠診断だったが解雇された。寮で生活していたがケガが治ったら寮から出された。ネットカフェ難民になる。

少し貯金があり、アパートを借りられるが、すぐに仕事が見つからなくても、賃金は1ヶ月後なのでアパートを借りることができない。

ネットカフェ難民になると、住所が無くなる。雇用条件が悪くなる。コンビニでも雇ってもらえない。日雇いの仕事だけになる。

お金がなくなるとコンビニへ行くが1時間が限度だ。これを5~6カ所まわって繰り返し朝を向かえる毎日になった。家が無いこと~お金がないと横になって寝られない。そのため、うつ病を発生する。その後、労働組合が保護した。



求人倍率は上がったが 多くは非正規だ

雇用の状況は、求人倍率は上がったが、その多くは非正規だ。労働力不足で正規の採用があった。安倍政権でも雇用が増えてきている。出生率を1.8人これを実現していく・めざす。これも減少傾向にある。



失業無き労働移動

人が動く・解雇を自由にする。雇用の流動化・派遣法の改悪で商品化。派遣法は労働法では無く事業法だ。(労働者派遣法の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律) (労働者派遣法・2015年9月11日に一部改悪された) 事業法で労働を商品として扱うこと。労働者派遣法は、今までは専門職は例外があった。これを安倍政権

る。20年後、人口不足が発生する。労働力を確保するため労働条件の改善雇用を増やしていく。安倍政権は、GDPを増やすために、同一労働同一賃金を言っている。しかし根本は労働者の商品化だ。

労働者を変えれば 永遠に使えぬ

企業は派遣法が改正になり、労働者が変われば永遠に使えぬ。あらゆる業務も可能になった。派遣会社は派遣社員から搾取しマージンを取っていたが特定した職種に限定していかないでマージンを取る理由が無くなった。企業は派遣労働者を採用する。派遣法は事業法、労働者の保護が無いいため、偽装や二次派遣など発生している。労働者・働き度商品化。

は規制を取つ払った。派遣期間は最長3年としていた。それ以上は正規として雇用となった。

無限に残業代0

限定正社員(正社員が無限正社員。限定がいれば無限もいる。正社員は残業代0のホワイトカラーエグゼンプション。現在は年収1075万円に限る。いづれ要件を下げる。すべての社員を対象にする。無限に残業代0で働かず。

労働時間は命の問題だ。一日8時間で週40時間が労働者の命を守る。ホワイトカラーは労働者の命を奪う。



解雇の金銭解決

不当な解雇でも金を支払えば解雇が可能になる。裁判で勝っても解雇ができる。経営側から申し入れて金銭解雇ができるようにする。会社はすべて労働自由を濫しようとしている。労働組合を潰していく法案だ。



労働組合 どうして必要か

安倍政権に対し労働組合がどうして必要なのか。労働組合が無ければ生きていけない。そして、まともな労働組合であること。国労は組織が少ないが、これまで闘ってきた共闘、地域での闘いはこれまでにない素晴らしい闘いだ。地域共闘など財産になっている。これを引き継いでいく。外に出て交流し組織していく。少数派でも大きな力、輝く存在になっている。

共闘(国労はあらゆる集会に旗が立っている。そういう状況になって欲しい。非正規労働者に対して連帯取り組みの強化、声が大きく上がってきている。非正規が教えてくれる。何か動き出せば運動が広がる。闘うことができる。基礎は団結、仲間の数が必要。厳しい状況に対して本当にがんばっていく。正念場だ。

働く・平和・人権・人らしく働くことを守ること。労働組合の基礎は団結だ。発言権・仲間・団結を守る。

